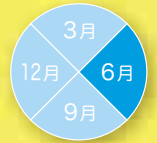




観音寺市議会だより
Kanonji City Council No.6 2015.7.1



ミライエ

観音寺の輝く未来へ
市議会の動きをわかりやすくお伝えします



平成27年度一般会計補正予算案を可決
陸上競技場トラック 全天候型へ
「平和安全法制」の慎重審議を求める意見書を否決
一般質問から見える市の課題



検索

観音寺市議会

改正された主な条例

- 市税条例の一部改正（議案第56号）
地方税法の一部改正に伴い、市民税、固定資産税、軽自動車税及びたばこ税の規定を改正
- 市都市計画税条例の一部改正（議案第57号）
地方税法の一部改正に伴い、負担調整措置を継続するための改正
- 市国民健康保険税条例の一部改正
（議案第58号）

保険税額の上限額の変更

	平成26年度	平成27年度
医療給付費分	51万円	52万円
後期高齢者支援金分	16万円	17万円
介護納付金分	14万円	16万円

- ひとり親家庭等医療費助成及び、重度身障者等医療費助成制度改正（議案第62号、63号）

現行：対象者が市内の医療機関に支払う自己負担分を直接市が負担。市外は本人が一時負担
8月1日以降：県内の医療機関についても窓口負担を直接市が負担

定例会は、新しい議場においてインターネット生中継などを導入し、8日から26日までの19日間で開かれた。
一般質問は、15日、16日ともに8名が、個人質問で市政について質した。
当局提案議案については、専決処分の承認4件、条例関係4件、人事案件2件、一般会計補正予算、国民健康保険事業特別会計補正予算が提案された。この内、人事案件は初日に可決され、その他の議案は各常任委員会に付託し、審議した。これらの議案は全て、最終日に原案通り可決された。
議員提案については、議案1件が初日に提案され、即日可決となった。また、意見書案1件は反対多数により、不採択となった。

市民サービスの充実に向けて

23,153千円増額補正決まる

主な補正

- 道の駅「とよはま」の設備の権利取得費 300万円
以前の指定管理者が設置した空調、電気、給排水設備等を市が取得
- 自主防災組織用資機材購入補助 200万円
丸井北自主防災組織へ育成補助
- 青色パトロール車購入費 161万5千円
豊田小学校区へ配置（9月より運行予定）
※子どもたちの安心・安全のため、地域ボランティアスタッフにより運行。すでに、常磐、柞田、大野原、豊浜、一ノ谷小学校区で実施中



昨年の協議をふまえ、整備の方向を確認

●運動公園陸上競技場整備設計調査費 401万8千円

陸上競技場トラックを全天候型へ改修するための設計調査費

※平成26年度当初予算計上の設計調査費（402万円は、施設改修全体像が示されていない段階での実施設計提案は、性急である）などの理由で削除した。

主な質疑

質問：昨年の疑問点を整理し、本来、補正ではなく、当初予算として計上すべきでは

答弁：財源の見直しなどについて、調整の時間が必要となり、補正として提案

質問：タータントラック（全天候型）は本当に必要なのか

答弁：土のグラウンドでは、雨の時に使えない状態

3種公認を受けるための条件整備（現在は4種）

小中高生の競技レベル向上につなげたい

採決結果

文教民生委員会

全会一致で可決（賛成4名、棄権1名）

本会議

全会一致で可決



●稲積山頂上整備事業 250万円

「宝くじコミュニティ助成事業」の補助を受け、高屋地区コミュニティ協議会が、稲積山頂上付近に東屋（休憩所）を設置する事業への助成。

※トイレの設置は27年度当初予算に計上

「平和安全法制」の慎重審議を求める意見書を否決

議員提案の意見書として最終日に提出され、提案理由説明、討論の後、採決の結果、賛成6名、反対13名で否決された。

提案内容

国において審議されている安全保障関連法案は、違憲の疑いがあり、国民への丁寧な説明と意見聴取、国会での慎重な審議が重要である。また、地方議会は身近な住民の声を国に届ける使命がある。

主な意見

【反対討論】

この法案は、与党内で十分議論され、憲法9条の枠内であり、厳格な3要件を附した限定的な内容となっている。審議時間も国会を95日延長しており、十分確保されている。

【賛成討論】

法案の内容について、ほとんどの憲法学者が「違憲である」と明言している。最近の世論調査では60%近くの人々が「憲法に違反している」との意志を示している。



議員 茂

健康ポイント制度を導入
してはどうか

答 弁 調査、検討していく

【質問】大阪府高石市をはじめ6市で国の支援を得ながら、健康保持に積極的に取り組み頑張っている40歳以上の人たちを対象に健康ポイント制度を導入している。例えば、一日9000歩以上の歩行を一カ月続けた人に300ポイント、健康教室に参加した人に20ポイント、筋肉量が増加した人には1000ポイントを与え、商品券を配布する事業を行っている。健康寿命を延ばす方策として、医療費削減の方策として有効だと思うが、今後、本市においても導入する考えがあるか伺う。

【答弁】参議院厚生労働委員会で安倍晋三首相は「自分で健康管理して生活習慣病にならない努力をする人に良いことがあるというインセンティブ（動機付け）を与えるのは当然だ」と述べ2020年度の財政健全化計画達成に向け、医療費をはじめ社会保障費の削減は避けられない課題とし、2016年度以降、自治体などが主催する健康教室への参加者らにポイントを付与する仕組みの拡充を関連法で明確化する方針をあげ、国も真剣に健康長寿、医療費抑制に取り組む姿勢を示した。市としても健康ポイント付与事業については取り組み内容の調査を行い、検討していく。



大平直昭

介護保険施設等の情報
提供

答 弁 広報紙やHPに情報を掲載するよう計画していく

【質問】広報紙やホームページなどを活用して各施設の定員やサービス内容、空き数、予約数など、詳しい情報を提供してはどうか。

【答弁】介護保険施設等の施設情報の掲載に加えて、特別養護老人ホームをはじめとした介護保険施設の、施設定員、入所者数、入所申込者数についても、掲載するよう計画していく。

献血の推進・啓発に力を入れるべきでは

答 弁 啓発し、献血者の増加に努めていく

【質問】広報紙やホームページを活用するなどして、献血の推進・啓発にもう少し力を入れるべきではないか。

また、若年層への推進・啓発が重要視されている。小中学校でも献血の啓発を進めていくべきではないか。



【答弁】献血について住民の理解を深めるため、広報紙やホームページで献血の大切さ等について引き続き啓発し、献血者の増加に努めていく。小中学校において、教科で教える内容としては取り扱っていないが、献血の重要性を考えた場合、学級活動や総合的な学習の時間などで、献血の意義について理解させ、献血の意識を高めることは大切なことなので、専門機関の「出前教室」等を学校に紹介しながら、啓発に努めていく。



安藤 忠明

地方創生について

答 弁 移住及び若年女性の定住促進等に努める

【質問】国は東京一極集中の是正をうたい、地方への移住を促そうとしている。本市でも受け入れる施策を整えるべきではないか。また、昨年、日本創生会議が将来、消滅する可能性がある自治体名の公表があり、その中には本市も含まれていたが考えを伺う。

【答弁】本市では、平成22年3月に交流定住促進計画を策定し、移住定住促進に取り組んできた。県や他市町と連携し、東京や大阪などで移住フェアを開催し、空き家バンク制度も活用してきた。東京在住者で移住希望者のうち約7割は、具体的な時期等は未定の人たちである。本市に呼び込むには、何が障壁になっているのか、何が必要なのかを探るために、意見や声を聞いていく。また消滅可能性都市については、民間研究機関である日本創生会議が昨年5月に2010年から2015年の間の人口移動の状況がそのまま続くという想定で推計した結果、2040年に20歳から39歳の若年女性人口が5割以下に減少する市町村が全国で896自治体で全体の49・8%になり、将来消滅する可能性があるとしたものである。本市としては、若年女性の定住や出生率の向上などに取り組み、将来にわたり持続可能な都市の実現を図りたいと考えている。



篠原 和代

教育現場の支援・設備 などは

答 弁

学校現場の意見やニーズを 聞いて次年度に検討

【質問①】市内の小学校・中学校の特別教育支援員の現状と現場からの希望について伺う。

【答弁】現在、小学校に26人、中学校に9人配置している。特別な支援を必要とする児童、生徒数は増加傾向で、限られた予算の中で出来るだけ多くの支援員が配置できるように対応しているが、学校や支援員の意見を聞きつつ、次年度に向けて検討していきたい。

【質問②】市内の小学校・中学校のカラーコピー機など、複合機の設置現状と今後の計画などについて伺う。

【答弁】カラーコピー機など、複合機を設置しているのは、現在3校。今後、学校現場のニーズを調査し、ランニングコストやコストパフォーマンスなどを比較検討し、導入方針について計画していく。

乳幼児健康診査の受診率は

答 弁

切れ目のない対応が重要

【質問】乳幼児健康診査の受診率の現状と未受診児の対応、健診の重要性について伺う。

【答弁】受診率は平均約99%、未受診児は育児相談や訪問、電話などで保健師が連絡し対応している。必要に応じて専門職による個別相談や受診を勧め、切れ目のない対応が重要と考えている。



立石 隆男

のりあいバスの現状と 今後の方針は？

答 弁

運行実態調査を実施し、新たな方向性を示していきたい

【質問】4路線あるのりあいバスは、約2年ごとに路線の見直しが行われているが、どのような方々が、どのような目的で、何人くらいが利用されているのか。

「長時間の乗車はきつい。」「新庁舎の玄関前のバス停にはベンチもなく、待つのは大変である。」「との声があるが、現状を市当局としてどうとらえているのか、伺う。

他市においてもさまざまな公共交通形態がとられているが、今後の方針について伺う。

【答弁】平成26年度乗車数は約7万3千4百人で、学生から年配者まで、幅広く利用されており、病院通院者が約10%、通学利用者が約9%である。

現状ではさまざまな課題があるのは承知しており、これ以上の要望に応えられないため、新たな方向性を示していきたいと思っている。今後は、今年度の調査結果をもとに、本市に合った公共交通にしたい。



篠原 重寿

空家の現状と取り組む 姿勢は

答 弁

現状は把握していないが、 県と連携し条例化したい

【質問】県の新規事業で、除却費用補助が始まる。市が事業を活用し、積極的に取り組む姿勢を伺う。

【答弁】危険空き家に対して、情報を基に、現場確認と所有者へ適正管理をお願いしている。今後、県など関係機関と連携し、事業実施に向けて情報交換を図りたい。

道路関係施設の全体像と、管理に 要する費用

答 弁

市道約600kmは老朽化が進み、 点検・維持管理が大変重要

【質問】市道に起因する事故の発生状況。道路管理の現状と維持管理に係る予算。

【答弁】過去3年間で、路面や側溝蓋の変形による物損事故は7件発生した。安全確保のための維持管理費は1億6千万円（平成26年度）である。





石山 秀和

空き家対策、
何が変わったのか？

【答 弁】 早期に条例の整備を急ぐ

【答 弁】 危険空き家と認定されると、除却、修繕等の指導、勧告、命令が可能となり、さらに強制執行が可能となる。今後、条例整備を急ぐ窓口対応は、地域支援課が行う。

ドローンの規制は？

【答 弁】 国・県の動向を見ながら検討する

【答 弁】 災害等での有効活用の妨げにならないよう、本市の公園条例等も照らし合わせ規制を検討する。

ロタウイルスワクチン(嘔吐下痢症)に公費助成を！

【答 弁】 三豊市と連携し、医師会の意見を聴き検討する

【答 弁】 感染、重篤化を防ぐには、ワクチン(任意接種)が有効。三豊市と連携し、三豊・観音寺市医師会の意見を聴き検討する。

読書通帳機の導入を！

【答 弁】 導入の検討はしていない

【答 弁】 県内では、まんのう町立図書館のみ導入している。読書意欲を高めると言われているが、本市では、200冊まで記入方式の読書通帳を昨年7月に発行、現在、700冊を配布済満期すれば賞状、しおりのプレゼントをしている。そのため、現状としては、読書通帳機の導入は検討していない。



大久保隆敏

今後の具体的な農業支援を伺う

【答 弁】 集落営農への支援を検討していきたい

【質問】 農業振興は、本市の重要課題の一つである。まず、本市の農業の現状を伺い、それを踏まえ、今後の大規模農家や集落営農、また、家庭的な小規模農家に対する具体的な支援策を伺う。

【答 弁】 本市の農業の現状は、①農家従事者の平均年齢は67歳。②認定農業者数は344人で平均年齢は61歳、農業法人数は24法人。③遊休農地の対応は各地区ごとに農業委員と農委事務局が農地パトロールを行い、自己管理の徹底指導や利用集積指導を行っている。

市としては、国の交付金を活用した事業の実施や市費の単独事業を行い、農地集積に努めるとともに、省力化、低コスト化施設整備を目的とした県費事業の市費上乘せも行い、大規模農家や集落営農を支援している。また、小規模農家に対しては、土づくりの完熟たい肥の利用や県費補助対象外の小規模農道や水路の改修など市費単独で補助を実施している。今後は集落営農への取り組み支援を検討していきたい。



伊丹 準二

本市の都市計画の将来像は

【答 弁】 市民が安心して安全に楽しく暮らせるまちに

【質問】 本市はコンパクトシティ実現に向けて、市役所・市民会館・学校の統廃合などを行っているが、理想とする形を伺う。

【答 弁】 市民が安心して安全に楽しく暮らせる環境をつくることである。観音寺駅を中心としたエリアに文化、行政、経済等が集約されたまちの形態をつくるのがコンパクトシティに合致する。20年がんばってきた成果がやっと表れてきたと思う。

本市の地方創生総合戦略の取り組みは

【答 弁】 戦略本部を立ち上げ市一体の取り組みを進める

【質問】 昨年末より地方創生についていろいろと報道され、本県も10月にその対応策を国に示す、とされている。人口減の予測のある本市も全庁あげての取り組みが必要と思われるが対応を伺う。

【答 弁】 本年4月「観音寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」を立ち上げ、本市の実情に応じた目標や施策の基本的方向について議論している。

地域経済分析システムを活用し、地域特性の分析を進めている。雇用の創出、本市への移住希望者への支援、子ども子育て施策など市一体の取り組みを進めねばならない。関連部署間の連携強化を図り、全力で取り組む。



豊浦 孝幸

旧観音寺町の住居表示 変更について

答 弁

時間をかけて調整していきたい

【質問】 地元住民から変更の不安や急ぎすぎではないか等さまざまな意見が寄せられている。地名はその地の歴史や文化に根差したものであり簡単に変えられる性質のものではない。そこそこ最近叫ばれている地方創生にも関わる話だと思う。そこに住む住民が町名を愛し由来を理解してこそアイデンティティーが生まれてくるし地元愛も育まれ持続可能なコミュニティが形成されると思う。

また、防災の観点からも今の表示改定案は問題があるのではないかと。自主防災組織は、まずは自治会単位になっているが今回の区割り案では住所名と自治会名が関連づけられていない。混乱の元にもなるのではないかと。以上のことを踏まえ、今後どのようにするか伺う。

【答弁】 住居表示が実施されることにより、本来の目的である住民サービスの向上に繋がることをしっかりと説明し、市の計画案を押し付けるのではなく、地元住民にご理解いただけるよう、時間をかけて調整していきたいと考えている。



井上 浩司

市民の通報による危険 箇所の把握

答 弁

フリーダイヤルの活用による情報の収集を検討

【質問】 市民の皆さんのご協力を得て、危険箇所が発見された場合、場所や状況を、通話料無料のフリーダイヤルでのファックスや画像が添付できるEメールなどにより、情報を収集できないか。

【答弁】 インフラの老朽化は、近年大きな問題となっているが、特に道路における路面の落下物、舗装の異常、道路の陥没、標識柱などの転倒などは、事故につながる危険性があるため、早急に対応が必要になってくる。

日常の点検は、パトロールなどにより実施しているが、職員だけの点検では見逃すこともあり、市のホームページにおいて情報提供をお願いしているが、事故防止の面では、市民皆さま方の通報が大変貴重な情報となっている。現在は、電話や電子メールにより通報していただいているが、今後は、フリーダイヤルによるファックスについても検討したいと考えている。



友枝 俊陽

農業委員会制度の改革 について

答 弁

積極的に組織・制度の見直しに
的確に対応し事業の推進を行う

【質問】 国で農協・農業委員会改革の議論が進んでいるが、本市の農業委員会の在り方と農地利用最適化推進委員の役割と委員の選出方法を伺う。

【答弁】 改革の内容は、農業委員の選出方法が選挙制度を廃止し、市長が議会の同意を得て任命する選任制になり、議会推薦・団体推薦も廃止される。現在、農業委員数は37人だが半分程度（18人〜19人）になり、その内半分（約9人程度）は認定農業者から選任し、農業に関係がなく業務が公正・的確に判断できる者（司法書士、教員等）も必ず1人は入れることとなる。本市は現在、女性農業委員が不在のため、この機会に女性・青年農業委員を積極的に登用してもらおうと地域に推薦依頼を進めていきたい。

農地利用最適化推進委員は担当する地区を定め事前に地域から推薦・公募を行い農業委員会が選任するが、委員数は今後調整する。業務は各地域における農地利用の最適化などを行い担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入などの振興業務である。





高橋 照雄

本市の液状化について
伺う

答 弁 県のホームページに掲載

【質問】 本市は河川近くに公共施設が多く建設されており、埋め立て地などの海岸付近に多く住宅がある。液状化マップについて伺う。

【答弁】 液状化とは、地震の際に水を含んだ砂地盤が振動により液体状になる現象をいい、これにより構造物が埋もれ、倒れたり、下水道管などの地中構造物が浮き上がったります。液状化については本市の総合防災マップには掲載していないが、香川県が南海トラフや中央構造線など、震源ごとに液状化危険予測図を作成し、ホームページなどで公表している。南海トラフを震源とする最大クラスの地震による液状化危険度予測図によると、本市では、海岸沿いの埋め立て地や財田川、柞田川の近くなどで液状化の危険度が高いと予測されている。



藤田 均

安全な通学路の継続的
整備求める

答 弁 現在の実行委員会を活用し、
毎年地域を定め充実させる

【質問】 大野原の議会報告会で、通学路の安全対策について聞かれたが。

【答弁】 現在の交通安全総点検実行委員会において、毎年実施地域を決めて点検し、改善を進めている。
通学路の危険箇所と対策がわかるインターネット公表については、検討していく。

大野原と豊浜の学校給食施設の今後の計画を聞く

答 弁 今後検討していく

【質問】 豊浜の議会報告会で参加者から「豊浜の給食施設は今の方式でやってほしい」と要望が出された。ある議員が「合併し、センター方式で進める」と答弁したが本当か？

【答弁】 決定していない。老朽化もあり、新センター建設を軸として今後検討していく。

市の非正規職員の待遇改善について

答 弁 周辺企業・自治体との均衡
に配慮しつつ検討していく

【質問】 自治体の非正規職員の増大は、公共サービスや教育の質の確保に影響するのでは？
待遇改善を求める。

【答弁】 (今年4月1日現在) 本市の正規職員は452人、非正規職員は331人、非正規率は42.3%である。非正規で年収200万円以下の人は153人いる。勤務形態はほぼ通常勤務賃金は、基本的に月額賃金で支給。退職金支給や昇給の制度はない。



安藤 康次

琴弾公園について

答 弁 県と連携し、琴弾公園の
景観保全に努める

【質問】 ①有明グラウンド入り口横の石柱の撤去は。②コイン館のからくり時計の修繕は。③琴柱池の噴水の修繕は。④琵琶の首水門横のトイレの改修は。⑤さくら広場の枯れた桜の対策は。⑥松くい虫防除対策等について伺う。

【答弁】 ①石柱の埋め込み部分を取り除き石のベンチとする。②からくり時計は観音寺観光開発(株)の所有であり、近々に役員会を開いて今後の方針を決めるとの報告あり。③噴水は県交流推進課に修繕を願い、検討中とのこと。④トイレは老朽化も進んでおり撤去を含め今後検討する。⑤桜の木については県が管理している、植樹の要望があることは県も承知しているが県立公園の予算も限られていることから優先順位の高いものから対応していく。





五味 伸亮

鹿隈橋の改修を提案

答 弁

可能な範囲で対応したい

【質問】鹿隈橋は多くの方に利用されている。しかし、車線幅は狭く、防護柵が垂直で、事故痕が多数あり、安全とは言えない状況にある。渋滞や老朽化も指摘され、橋の元には防災センターがあり、交通に多様性を持たせることも必要だと考える。現状を踏まえて、修繕のみならず、防護柵を側面にしたたり、車線拡幅などの対応を、技術的に可能かどうかも含めて伺う。

【答弁】橋の両端部、及び防護柵の改良、拡幅について、今後の長寿命化修繕計画に基づく修繕工事に併せて検討し、可能な範囲で対応していきたい。現時点で架け替えは考えていない。

地方創生で周辺市と連携を

答 弁

担当者レベルから進める

【質問】各自治体が地方創生に取り組むなか、独自性を発揮することは、容易なことではない。そこで、本市の位置的優位性を活かし、周辺市と協力することに魅力を感じる。本市も、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部が設置された。可能であれば、周辺市の同本部との協議の場を設けて、一緒に取り組むことも必要だと思うが、市の考えを伺う。

【答弁】地方創生には広域連携による総力体制が重要と認識している。周辺市である三豊市、四国中央市、三好市とは、それぞれの特性や事情を勘案しつつ、まずは担当者レベルから協議を進めながら、連携を図っていきたい。

掲載できなかった一般質問

氏 名	質 問 件 名
詫間 茂	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方版総合戦略について ● 特別支援を必要とする子どもへの対応について ● 地域救命救急センターの現状について ● 出前講座について
安藤 忠明	<ul style="list-style-type: none"> ● 危機管理について ● 簡易宿泊所について ● 常磐地区の排水について ● 予防接種について
篠原 重寿	<ul style="list-style-type: none"> ● 平和行政について
石山 秀和	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車事故をなくするための取り組みについて ● 今後の道路・橋梁等の点検・整備について ● 18歳選挙権について
伊丹 準二	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家・空き地対策について

氏 名	質 問 件 名
井上 浩司	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症の予防について
友枝 俊陽	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家対策と特別措置について ● 小・中学校等教育施設的环境整備について
高橋 照雄	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設等総合管理計画について
藤田 均	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区公民館整備と活用計画について ● 就学援助の充実について ● 保育所への看護師の配置充実について
五味 伸亮	<ul style="list-style-type: none"> ● 新庁舎について ● 障がい児支援について ● 自治公民館を活用した地域コミュニティの再生を図る提案について ● 平成27年請願第1号採択後の市の対応について



議会運営委員会視察報告

神奈川県海老名市 5月18日

- 議会改革について
- 議会運営について
- iPadの導入について
- フェイスブックの活用について
- 政治倫理について
- 会派の取扱いについて

「市民に開かれた議会」として先進的な議会運営、タイムリーな情報発信について多くの学びを得ることができた。政治倫理と会派の取扱いについても本市議会でも今後、議論を深めなければならない。また、タブレットの活用等についても費用対効果、利用形態などを検証、議論しながら進めていきたい。

神奈川県逗子市 5月19日

- 議会改革について
- タブレットの活用について



建設経済委員会視察報告

危険箇所視察 5月15日

- 通学路整備 ・ 市道粟屋堂之岡線外6カ所
- 交差点改良 ・ 市道駅通り池之尻線外1カ所
- 防災対策 ・ 室本港護岸改修外3カ所
- 地滑り対策 ・ 市道大野原池田線

5月15日(金)に市内の危険箇所の視察を行いました。現場は、自治会、小中学校やPTAなどから要望があげられている場所を中心に市内14カ所を担当課と共に現地に行き、説明を受けました。



▲国道11号の出作町南交差点

文教民生委員会視察報告

学校視察（市立小学校9校・市立中学校5校・学校組合立中学校1校）5月中旬から7月初旬

- 教育目標と取り組み
- 教育現場の現状と課題
 - ・ 不登校生徒
 - ・ いじめ問題
 - ・ 携帯電話
 - ・ 発達障害など
- 問題をかかえている生徒の支援
- 学校教育に必要な支援や体制
- 教員職員の職場環境
- 施設見学と修繕箇所等の把握
- その他

上記のことについて主に話しあい、現状把握と取組状況、課題と今後の対策等について各学校の状況を調査し、教育現場の実情を把握しました。今後、委員会で意見集約を行い、子ども達により良い、教育政策や教育環境の整備などに繋がるようにしていきたい。



審議結果

議案の審議結果 平成27年第3回（6月）定例会

● 全会一致の議案

議案番号等	議案名	議決結果
第57号	専決処分の承認について（観音寺市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認
第59号	専決処分の承認について（和解について）	//
第60号	観音寺市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
第61号	観音寺市手数料条例の一部改正について	//
第62号	観音寺市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正について	//
第63号	観音寺市重度心身障害者等医療費助成に関する条例の一部改正について	//
第64号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意
第65号	粟井坂瀬山林管理会委員の委嘱について	//
第66号	平成27年度観音寺市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
第67号	専決処分の承認について（平成27年度観音寺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号））	承認
議提議案第4号	観音寺市議会会議規則の一部改正について	原案可決

● 賛否の分かれた議案

議案名等	議員名																議決結果					
	豊浦	篠原	藤田	五味	友枝	井下	立石	伊丹	詫間	篠原	大久保	高橋	安藤	大賀	秋山	大平		井上	大矢	石山	安藤	
議案第56号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	承認
第58号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	//
意見書案第1号	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	●	-	●	●	○	●	●	●	●	原案否決

※ 議長は可否同数の場合のみ裁決権があります。 ※ ○…賛成 ●…反対

全国市議会議長会において大賀議長が壇上で議案を提案



6月17日、日比谷公会堂において全国市議会議長会が開催され、本市議会提出議案が採択されました。

議案名は「マイナンバー制度導入に係る国庫補助拡大及び制度周知について」と適時な内容であり、その他の全国各地区部会の採択案件とともに、国の関係機関へ提出されました。



平成27年度 議会報告会 「市民と議会のつどい」

ご参加
ありがとうございました

活発なご意見・ご質問が寄せられました。大変参考になりました。今後の議会活動に生かしたいと思います。



大野原中央公民館 5月13日(水)



豊浜中央公民館 5月14日(木)



観音寺市役所 5月15日(金)

ぎらぎらと照つける太陽の下、白砂青松の有明浜では、砂浜でビーチバレーを楽しむ若者、海に入り波と戯れる親子、毎日、たくさんの人たちでにぎわっています。花壇には、向日葵や朝顔、窓には、へちまやゴーヤ、夏を感じています。

市議会は、「市民と議会のつどい」をはじめ、各委員会ごとに視察研修を実施し、市民の皆さまの声を、少しでも市政に反映できるように、日々、努力しております。今まで以上に、議会に興味を持っていただき、身近に感じていただけるように、今後ともご指導をお願いいたします。

編集 後記

28日	17日	16日	15日	14日	9月11日	7月8日	1日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	決算審査	決算審査	本会議(一般質問)	本会議

9月定例会 の予定



広聴広報委員会

委員長 石山 秀和 副委員長 篠原 和代
 篠原 重寿・大平 直昭・友枝 俊陽
 五味 伸亮・藤田 均



この議会だよりは環境にやさしい
植物油インキを使用しています。